

事業内容① 都民への普及啓発

都民が自分自身の希望するケアについて考えられるようになる

○ 自分が希望するケアを考える本人

一人一人が自分の人生について「大切なもの」「よりよく生きる」とは何かを考え、医療や介護について、家族や医療介護従事者と話し合い、自分以外の人に希望を共有しておくことで、自分の望まない医療と介護を避け、自己意思が尊重された医療と介護を受ける準備を進めることができるようになる。

○ 本人に関わる支援者以外の家族及び関係者

身近な人、大切な人の医療・ケアについて考え、話し合いに参加できるようになる。

○ 選択肢の提示

積極的医療だけでなく、治し支える医療について啓発し、人生の最終段階における医療・ケアに対するイメージを都民が持つようにする

○ 本人・家族における話し合いの重要性の認識

社会の中で「自分の人生の最終段階」について考え、話すことがポジティブに受け止められる雰囲気醸成

○ きっかけづくり

自分または家族の医療・ケアについて考え、家族間で話し合う機会の創出

○ 「わたしの思い手帳」を作成・配布し、都民自身が希望する医療・ケアについて考える機会を創出。

※ 6年間で**本編22.1万部、書き込み編23.3万部、（本編・書き込み編計45.4万冊）**を印刷し、都内の病院・診療所、介護事業所、医療・介護関係団体、区市町村等へ配布するとともに、PDFデータ等を下記サイトに掲載

（1）病院、在宅療養の場での活用

病院の待合室や資料コーナーなど、患者や家族が自由に手に取れる場所に設置。病院の医師や看護師、在宅医や訪問看護師、ケアマネジャー等が、患者・家族に説明を加えながら渡し、考えることを促したり、相談に乗ったりする。

（2）市民向け講演会や勉強会での活用

市民がその場で考えたり、参加者らと話し合ったりできる。

○ ACP普及啓発のためのリーフレットを作成。サンプルを区市町村、各関係団体、病院等に配布。（R5）

区市町村、医療機関、介護施設等が印刷して活用できるよう、PDFデータを下記サイトに掲載

○ 東京都ACPポータルサイトの開設（R8.3）<https://acp-portal.metro.tokyo.lg.jp/>

事業内容① 都民への普及啓発

令和8年度の取組(案)

○ 東京都ACPポータルサイトを活用した普及啓発

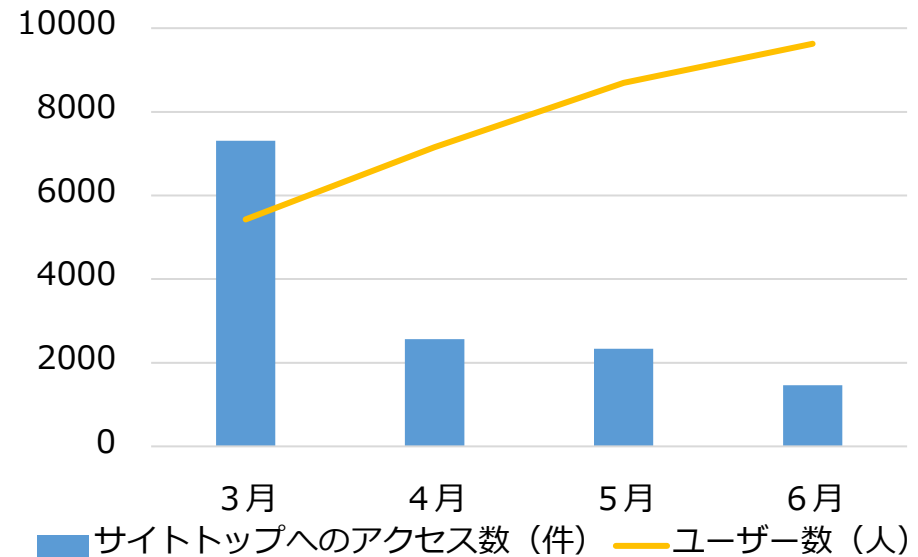
	3月 ※3月4日～	4月	5月	6月 ※～6月20日	合計
新規ユーザー数	5,427	1,728	1,535	937	9,627
サイトトップ	7,304	2,565	2,335	1,464	13,668
書き込み編トップ	444	239	183	157	1,023

➡ 新規ユーザー数は増加しているものの、月ごとのアクセス数は減少しており、ポータルサイト内機能の活用も進んでいないため、更なる周知が必要

✓ 都のSNS（LINE等）や広報東京都、都庁舎のライトアップ（予定）など様々な媒体を活用し、普及啓発を図っていく

○ 「わたしの思い手帳」、リーフレットを活用した普及啓発

✓ 本編・書き込み編共に増刷し、高齢者を中心とした紙媒体へのニーズにも引き続き対応



令和9年度の取組(案)

更なる普及啓発を図るため、以下のような取組を検討

- ✓ SNS等で広告配信可能なショート動画の作成
- ✓ 一目でACPの概要や大切さが分かるカードの作成 等